

I 全国専門学科「情報科」研究協議会

全国専門学科「情報科」研究協議会が、8月21・22日、福岡県の麻生情報ビジネス専門学校を会場に行われました。全国の専門学科「情報科」がある高校が集まる年に一度の大会で、本校情報科から4名の生徒が研究発表を行いました。また、他県の情報科生徒との交流会や福岡のIT企業の見学も実施しました。

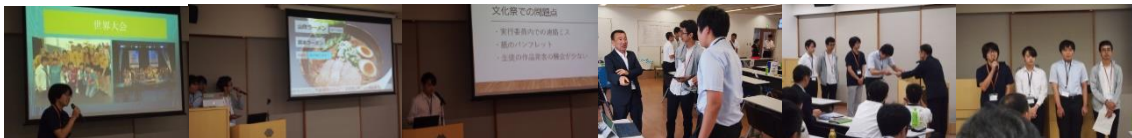
全国大会という舞台での発表は大きな自信となり、他県生徒の発表や作品から多くの刺激を受けました。参加した生徒たちは、次の目標に向けて動き始めています。このような全国大会での発表は、SPH到達度マップの主体性や社会性のレベル5を特に意識した活動です。

□生徒発表について

本校は「新宿山吹高校情報科の生徒の活動について」というタイトルで、FLL (FIRST LEGO League) というロボット競技世界大会に出場したことについて、また、昨年度から取り組んでいる文化祭食券管理システム「Ticper 2」の開発について、4名の生徒がリレー方式に発表しました。流れにまとまりがあり、見せ場も作る事ができ、これまでの練習成果を発揮することができました。

他校の発表

- プログラミングの知識を活かした地域貢献の取組
～レゴマインドストームの実習とテキスト教材の作成を通して～ (福岡県立嘉穂総合高等学校)
- ITエンジニアを目指して 課題研究の取り組みの途中経過報告 (香川県立坂出商業高等学校)
- 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール (SPH)」における学習内容の発表 ～「将来の情報セキュリティ人材」になることを目指して～ (京都府立京都すばる高等学校)



□発表した生徒の感想

もうちょっと凝ればよかったなと後悔している。他の学校とは違ったスタイルで発表でき、見ている人を沸かせることができたり、やりがいがあった。

リハーサルでは、パソコンをつなぎかえたり、ロボットを持ったりといくつか動きが入る予定だったのでそれを確認した。当日の発表では、時間もぴったりおさまリ、LEGO、文化祭アプリ、文化祭システムと20分の中でそれぞれのテーマを説明し良いプレゼンになったと思います。個人の発表についての感想は可もなく不可もなくといった感じでしたが、終わった後に「もう少し面白い発表ができたかな」と思い、ちょっとした反省もありました。

プレゼンではあまり時間がなく早口になってしまったが、伝えたいことはしっかり伝えられたので良かった。また、発表会終了後、会場の後ろで展示していた時、話を聞きに来てくれた先生がいて嬉しかった。

発表まではあまり時間がなかったので心配だったが、前日の練習やその前から先生方が親身に文章やパワーポイントを見てくれたので準備万端で臨めた。リハーサルではうまく時間を縮めることができなかつたが、直前でなんとかできた。発表では緊張でうまく話せなかつたが、精一杯の力は出せた。

□生徒交流



レゴマインドストームE V 3を使ったプログラミング学習の体験会を行いました。各センサーの使い方、モーター制御、センサーを使った制御プログラミングを学び、最後に「WRO(World Robot Olympiad)のミドル部門のコースを完走する」という課題を行いました。最終課題では他校の生徒同士がペアになり、自己紹介を行った後、課題をどう解決するかの方角性を考えました。その後、意見を出し合いながらプログラミングを行い、ロボットを動かしました。

共通の課題をペアで取り組むことで、自然とコミュニケーションが生まれ、他校の生徒と十分に交流が図れたようです。



□株式会社キャッチアップ見学

株式会社キャッチアップは福岡を拠点とする IT 企業であり、国産の CMS である baserCMS の開発において中心的な役割を担っています。baserCMS 開発の経緯や今後の展望、オープンソースのコミュニティのこと、PHP プログラムの技術的なことまで、現場の第一線で活躍する技術者の方から実際に開発を手掛けているシステムについて、具体的なお話を聞くことができました。

また、今の企業はコミュニケーション能力がある人材を求めていること、入社後の社員教育では、本校情報科の授業で行っているように、「段階を踏んでクリアしていく課題」に取り組みプログラミングスキルを上げて実際の業務に入っていくということでした。様々なお話を聞くことができ、生徒にとっては貴重な体験となったようです。



2

デジタル色彩士検定 全員合格！

今年度の夏期講習では、日本カラーイメージ協会の方々に講師に迎え、5日間の日程で「デジタル色彩士検定3級」の講義を行い、最終日に検定試験を実施しました。講義や実習を通して、色の持つ心理的な効果、色から受ける影響、配色の仕方などを理解し、色彩に対する考え方が広がりました。また、高いモチベーションを維持し取り組んだ結果、12名全員が「デジタル色彩士検定3級」に合格することができました。講習をきっかけに、今後は主体性を高め、よりデザイン力、アイディ

ア力を高めてくれることを期待しています。



デジタル色彩士検定（夏期講習）
DATA
8月6日（月）～10日（金）
10:40～14:50
参加人数12名

3

DNPショールーム見学

8月31日、DNP五反田ショールーム見学をしました。(DNP:大日本印刷株式会社) 目的として、最先端の情報技術を見学・体験することで社会のなかで情報技術がどのように使われているのかを知ること、技術者の方からキャリアパスについて伺い、「情報科で学んでいることが、将来どのようにつながるのか」をイメージすることをかかげました。

まずルーブル美術館と協力して作り上げたVR技術「体感する地球儀・天球儀」や、美術鑑賞システムの体験をさせていただきました。次に、特殊印刷の最新技術を見学しました。例えば、決められた物質のみを通すフィルムや、家のガラスに張ることで効率的に自然光を取り込み室内を明るくする採光フィルムには驚かされました。

最後に社員の方2名から、高校生に向けた講演をしていただきました。講演ではDNPに就職した理由や人生の中で何を考えてきたかなど、様々な視点を持つことの大切さを教えていただきました。また、実際に制作された下水道内のVRについての制作現場とその制作手順について教えていただきました。



DNPショールーム見学(人間と社会)
DATA
8月31日(金)
13:15~16:15
参加人数14名

4

Apple フィールドトリップ

Macbook を使って「課題研究」の研究活動を行っている生徒を対象に、Apple フィールドトリップに参加しました。研究活動を加速させるための校外学習です。Apple 新宿の10時開店と同時にスタッフの方に迎えられて入店します。



今回の校外学習のテーマは「①創造力を高める ②プレゼンテーションソフト KeyNote の使い方 ③UIを意識したアプリ開発」です。2~3名でチームを組み、ipad や専用のペンシルを使いながら、アプリのアイデアを出し合ってまとめました。



最後に完成したアプリのプロトタイプについて、プレゼンテーションを行いました。プレゼンする大画面はお店の中心にあり、店内には大勢のお客さんがいるという刺激的な環境でしたが、2チームともしっかりと発表ができました。

フィールドトリップで得たことを、今後の研究活動につなげてほしいと思います。



Apple フィールドトリップ
DATA
7月19日(木)
10:00~11:30
Apple 新宿 参加人数5名